

イランカラブテ。

新倉和実 クネ。

静岡 オロワ ケク ルウエ ネ。

ピリカノ クイエ エアイカブ コロカ

アリキキノ クイエ クス ネ ナ。

ヌ ワ エンコレ ヤン。

フシコオンネ

エルム カント オッタ カムイ オロワ

ネブ カ ピリカ プ ソホセ。

ヘムパラ アタイエ

エカラ エトクシ ルウエ タ アン？

トゥニ ハム ランケ コ オロワ

アリ エルム イタク。

オロワノ カムイ ウタラ

トゥニ タイ オルン

インカラ ワ アン コ

サクパ ヘネ マタパ ヘネ

ハム ランケ カ ソモ キ。

タブ チ ハム ウシ ホントムタ

フ ハム ウシ カネ シラン。

こんにちは。

私は新倉和実といいます。

静岡から来ました。

上手に出来ないかもしれませんが、

頑張って話します。

聞いてください。

昔、

ネズミが天の神様から何かしら

結構なものを借りた。

いつになったら

返してくれる？

柏の葉が落ちてから

とネズミが答えた。

そこで、神様たちは

柏の森を

見張っていたが

夏になっても冬になっても、

葉が落ちない。

今枯れた葉があると見ればもう

青い葉がついている。

エルム ネ ヤツカ シノ ラムアン ハウエ
カムイ ウタラ シノ イヨクヌレ

ネズミもなかなか賢いものだと、
神様たちがつくづく感心した。

ワ クス カント オロワ
リコチリポ ウタラ エルム ソアタイ
タクテ クス アラプテ コ
トゥニ タイ エンカ
イヨッタ コウウエカラパ プ ネ。

だから、天国から
ヒバリがネズミへの催促に
降ろされると、
柏の森の上空に
最も好んで集まるのである。

オロワ

それから、

タカタカチウローチウローノツネピリカ
アントイキナカ
コーケウナッキソレタチウチウロー
チャーピシカン
チャーケレレオツパテンテン
サーピッチャララチリッ

(アイヌ語でのひばりの聞きなし表現)

アリ リコチリポ レキ アナクネ
エルム エネ アコアタイタキ ネ
ルウエ ネ

というヒバリの歌は、
実はネズミへの催促
なのである。

イヤイライケレ。

ありがとうございました。

出典：(公財) アイヌ民族文化財団「エルム ネワ リコチリポ」『アイヌ語動画講座』
(2022) (動画)